

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2009-249002

(P2009-249002A)

(43) 公開日 平成21年10月29日(2009. 10. 29)

(51) Int. Cl.	F 1	テーマコード (参考)
B 6 5 D 23/08 (2006.01)	B 6 5 D 23/08 B R L Z	3 E O 6 2
B 6 5 D 23/00 (2006.01)	B 6 5 D 23/00 H	
G 0 9 F 3/02 (2006.01)	G 0 9 F 3/02 M	
G 0 9 F 3/04 (2006.01)	G 0 9 F 3/04 C	

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 16 頁)

(21) 出願番号	特願2008-99385 (P2008-99385)	(71) 出願人	000002897 大日本印刷株式会社 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
(22) 出願日	平成20年4月7日(2008. 4. 7)	(74) 代理人	100090893 弁理士 渡邊 敏
		(72) 発明者	能登 勉 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号大 日本印刷株式会社内
		(72) 発明者	上田 洋典 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号大 日本印刷株式会社内
		Fターム(参考)	3E062 AA09 AB02 AC02 AC03 AC06 AC07 DA02 DA07 JA01 JA08 JB05 JC02

(54) 【発明の名称】 シュリンクラベル用原反およびシュリンクラベル付き容器

(57) 【要約】

【課題】簡単な構成により、使用後の容器とシュリンクラベルとに容易に分離可能なシュリンクラベル付き容器を提供することを課題とする。

【解決手段】シュリンクラベル用原反であって、原反の流れ方向に少なくとも2本のラベル剥離用切り取り線加工がなされ、かつ前記原反のカット位置であって、かつ前記切り取り線の線上に半径0.5～10mmの円形または楕円形の切り取り孔が形成されることを特徴とする、シュリンクラベル用原反を使用すれば、通常のシュリンク加工によってラベルの剥離片の端部につまみ片を形成することができる。これにより簡便に剥離片を切断し、ラベルを除去することができる。

【選択図】 図1

